

福生市環境基本計画実行計画

(平成 25 年度実行計画進捗状況)

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

◆福生市環境基本計画実行計画

戦略プロジェクトの展開 - - - - - P 1

1 地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト - - P 1

2 自然や緑を守りつくるプロジェクト - - - - - P 1

3 福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト - - - - P 1

分野別施策 - - - - - P 1

第1節 自然の保全・再生 - - - - - P 1

1 自然の水循環、多摩川の再生 - - - - - P 1

2 都市の自然の再生 - - - - - P 2

第2節 潤い豊かな安心できるまちの創造 - - - - - P 3

1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり - - - - P 3

2 安心して歩ける道・緑の街づくり - - - - - P 4

第3節 暮らし方の変革・地球システムへの融合 - - - - P 5

1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 - - - - P 5

2 地球環境問題・公害等への取り組み - - - - - P 6

計画の推進 - - - - - P 7

第1節 環境教育・学習の推進 - - - - - P 7

第2節 パートナーシップの確立 - - - - - P 8

協働事業の明確化 - - - - - P 8

第3節 計画推進体制の確立 - - - - - P 9

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

2 実行計画の内容等

（１）本実行計画は、福生市環境基本計画中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。

（２）平成 25 年度の実行計画の進捗状況、実施状況を評価し、表中に記載する。

【評価基準】

実施評価		状況評価	
実施できた（100%）	A	順調に進んでいる（100%）	①
おおむね実施できた（80%）	B	ほぼ順調（80%）	②
やや実施できた（50%）	C	多少低調気味（50%）	③
未実施	D	低調	④

【評価理由】

評価理由については状況評価の評価理由を記載。

実施評価で「D：未実施」の場合については、状況評価を行えないため「D：未実施」の理由を記載。

3 推進体制

（１）本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進行状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。

（２）本実行計画の進行状況については、市のホームページにより市民に公表する。

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系	頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等						
			部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由			
戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	ごみを資源化する	生ごみ減量化への社会実験	10	生ごみ減量化への社会実験	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	減量化呼びかけ、生ごみ処理機等補助効果の実態調査	国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討する。	0					国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討した。	A	①	可燃ごみの収集量は年々減少している。	
戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	ごみを資源化する	食用廃油リサイクルの研究	10	食用廃油リサイクルの研究	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	実態調査	国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討する。	0					国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討した。	A	④	未だ導入実績は少ない。	
戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	CO2を削減する	新エネ・省エネ機器導入促進	10	住宅用省エネルギー・新エネルギー設備助成金	生活環境部	環境課	環境係	継続	住宅用省エネルギー・新エネルギー設備を新たに設置した市民に対して助成金を交付する。太陽光発電システムなど5設備が対象。	住宅用省エネルギー・新エネルギー設備を新たに設置した市民に対して助成金を交付する。太陽光発電システムなど5設備が対象。	4,000,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	助成件数50件(太陽光発電38件、CO2冷媒ヒートポンプ給湯器9件、燃料電池3件)	A	①	2030年までに温室効果ガスの50%削減という、大きな目標を掲げている。少ない予算で可能な事業展開を図った。	
戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	自転車のまちをつくる	電動アシスト自転車レンタサイクルシステム運営の研究	11	次世代モビリティ活用モデル事業	生活環境部	環境課	環境係	継続	電気自動車2台・電動アシスト自転車35台を活用したカーシェアリング・サイクルシェアリングによる環境と観光の観点による実証実験。	平成26年度の事業を見据え、継続して実証実験を継続実施。 急速充電器は有料化を検討。	12,607,848	衛生費	保健衛生費	環境保全費	次世代モビリティ活用モデル事業費	平成25年度で実証実験は終了し、カーシェアリングは終了、サイクルシェアリングは平成26年度から本格実施とした。 カーシェアリング実績:会員数67名、総走行距離15,748km サイクルシェアリング実績:会員登録数338名、総利用時間数83,654分 平成25年10月1日より急速充電器の有料化開始。	A	①	実証実験により、カーシェアリング民間業者が市内に参入した。サイクルシェアリングは新たな公共交通システム等の効果が期待できるため本格実施とするための判断を行うことができたため	
戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	湧水を守る	湧水モニタリング調査、湧水地点での生き物調査	12	湧水地点水質調査	生活環境部	環境課	環境係	継続	湧水保全方針の策定、湧水モニタリング調査、湧水地点の生き物調査	湧水地点の整備や湧水保全方針策定のため市内6地点の湧水実態調査と多摩川の水質調査を行う。	0					湧水6箇所と多摩川の水質検査を行った。実施回数:12回	B	②	法政大学山崎セミナーの学生との協働実施。月1回の実態調査を行った。	
戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	市民による樹林管理体制の強化	12	市民による樹林管理体制の強化	都市建設部	施設課	公園グループ	継続	緑地保全ボランティアの募集「森の生物カレンダー」の情報PRによる関心の醸成を検討、研究していく。	緑地樹木等調査委託を活用して、今後の市民ボランティアを活用した緑地管理システムにむけて検討、研究をしていく。	0					2団体 15名 40回	C	③	樹林地における市民活動の拠点が出来たばかりで実績が浅い。	
戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	自然再生方針の検討	12	緑の基本計画	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	緑の基本計画の改定	平成24、25年の2ヶ年にて緑の基本計画の改定を行う。	3,990,000	土木費	都市計画費	都市計画総務費	都市計画事務費	改定検討委員会7人(3回開催)及び庁内検討委員会11人(4回開催)。事業費3,990,000円。	A	①	市民アンケートと改定検討委員会及び庁内検討委員会を実施し、平成26年3月に策定完了することができた。	
戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	自然再生方針の検討	12	緑の基本計画	都市建設部	施設課	公園グループ	継続	再掲	緑の基本計画の改定作業を行う、まちづくり計画課に改定作業の協力をを行う。	0					1回	A	①	計画の改訂を実施できた。	
戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	自然再生方針の検討	12	緑の基本計画	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	緑の基本計画の改定	公共施設における雨水貯留施設の整備の検討をする。	0					まちづくり計画課が実施する改定作業に伴う会議へ出席し、意見反映を行った。	A	①	改定作業にあたり協力できた。
戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	自然再生事業の展開	12	自然再生事業の展開	都市建設部	施設課	公園グループ	継続	可能な場所からの公園の裸地等の樹林地化・ピオトープ化・森林遷移モデル実験区域の設定、野鳥観察所の整備が図れるよう検討・研究していく。	福生の代表的な緑地である玉川上水緑地、多摩川上水緑地、熊川緑地、原ヶ谷戸緑地について順次、自然再生が図れるよう萌芽更新等を研究・検討していく。	0					1回	C	③	南公園で具体的な実施をしたが、今後更に研究が必要。	
戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	熊川分水保全学習の展開	13	熊川分水たんけん隊、熊川分水に親しむ講座	教育委員会	公民館	白梅分館	継続	熊川分水の文化的・自然的価値を再発見する講座、子ども探検隊等の開催	熊川分水たんけん隊 1コース 2回 熊川分水に親しむ講座 1コース 6回	102,000	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費	熊川分水たんけん隊1コース2回参加者延べ33人、熊川分水に親しむ講座1コース4回参加者延べ52人	B	②	熊川分水に親しむ講座は実施段階でプログラム内容の修正等で回数を4回に減じたため	
戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	保全・活用方針の検討	13	保全・活用方針の検討	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	用水保全及び修景ルールの研究・確立	熊川分水に親しむ会と福生市との協働により保全に努める。	0					市長と担当部署を交えた意見交換会を実施し、維持保全や要望についての検討を行った。	B	②	市長と担当部署を交えた意見交換会を毎年実施し、維持保全や要望についての検討をしている。	
戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	森田製糸跡地に残る熊川分水の保護・管理	13	森田製糸跡地(片倉跡地)に残る熊川分水の保護・管理	企画財政部	企画調整課	企画調整担当	継続	都への働きかけ	都へ環境整備等の要望を行う。	0					都への要望回数 1回	A	②	東京都市町村企画研究会を通じて要望を行っている。	
戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	玉川上水沿いに遊歩道をつくる	保全・活用方針の検討	14	保全・活用方針の検討	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	再掲	上水沿いの市道・水道局用地・市有地の遊歩道化の可能性調査	東京都水道局及び福生警察署等と調査中。今後も引き続き行う。	0					玉川上水沿いの一方通行の路線を通行止にし、遊歩道にするように福生警察署と調整中である。	B	②	継続して福生警察署と調整中である。
戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	玉川上水沿いに遊歩道をつくる	都事業への働きかけ	14	都事業化への働きかけ	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	再掲	都「史跡玉川上水整備活用計画」計画対象区間延伸への働きかけ	平成24年度と同様に「史跡玉川上水整備活用計画」の計画対象区間の上流部まで延伸を都へ要請する。	0					景観推進連絡会と協働にて要請を行った。	C	③	継続して東京都水道局へ要請中である。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	①水質汚濁防止・河川水量の確保	16	水質汚濁防止・河川水量の確保	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続。	河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続。	0					国交省に対して要望を行った。	A	①	河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続している。	

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等			
						部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	①水質汚濁防止・河川水量の確保	16	水質汚濁防止・河川水量の確保	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続		下水道への油や界面活性剤、洗車等による汚染物の混入防止のため水質汚濁防止の啓発。また、河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続。	市内事業者に対して下水道法に基づく特定施設の届出・水質管理を継続して指導を行う。	693,834	下水道	1総務費 1総務管理費	2維持管理費	下水道施設維持管理費	市内事業者に対して下水道法に基づく特定施設の届出・水質管理を継続して指導を行う。	A	①	25年度異常値無し
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	②湧水の保護	16	湧水の保護	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		清岩院など拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境の保護を図る保全方針の策定。	緑の基本計画を作成するため、その中で検討していく。	0					平成26年3月に完成した緑の基本計画の中に湧水の保護について盛り込んだ。	A	①	市民アンケートと改定検討委員会及び庁内検討委員会を実施し、平成26年3月に策定完了することができた。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	②湧水の保護	16	湧水地点水質調査	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	湧水保全方針の策定、湧水モニタリング調査、湧水地点の生き物調査	湧水地点の整備や湧水保全方針策定のため市内6地点の湧水実態調査と多摩川の水質調査を行う。	0					湧水6箇所と多摩川の水質検査を行った。実施回数:12回	B	②	法政大学山崎セミナーの学生との協働実施。月1回の実態調査を行った。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③地下水のかん養・冠水防止	16	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続		「東京都環境確保条例」に基づき、地下水の揚水量指導に努める。また、浸透性舗装の拡大や一般宅地での雨水浸透ます設置助成、宅地開発における雨水浸透ます設置の指導を行う。	浸透性舗装の推進や一般宅地での雨水浸透ますの設置助成、宅地開発における雨水浸透ます設置の指導を行い地下水涵養に努めていく。	1,011,000	下水道	2事業費 1下水道整備費	1管渠費	雨水浸透施設設置事業費	HPIにて周知、環境フェスティバル、七夕、産業祭にブース出展 25年度:6箇所(36個)、助成額 1,007,000円	A	①	昨年度の実績を上回る。防災計画総合治水に位置する案件でもあるので、今後も推進していく
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③地下水のかん養・冠水防止	16	地下水揚水量報告事務	生活環境部	環境課	環境係	継続		「東京都環境確保条例」に基づき、地下水の揚水量指導に努める。	東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため適正使用指導を行う。	0					市内16事業所から地下水揚水量報告書の提出とともに、適正使用について指導を行った。	B	②	事業者の適正使用の徹底が図れた。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	雨水貯留槽設置助成金制度	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続		家庭用雨水貯留槽の設置助成	年3回広報、コミュニティビジョン、福生市HPに掲載して周知。環境フェスティバル・産業祭にブース出展を実施してPR。市庁舎1階フロアに雨水貯留槽実物展示によりPR。七夕まつりにてPR実施。予算:20基について設置助成を計画	95,000	下水道	1総務費 1総務管理費	1一般管理費	雨水貯留槽設置助成事業費	広報4、7、8月に掲載、HPIにて周知、環境フェスティバル、七夕、産業祭にブース出展、市庁舎1階フロアに貯留槽実物展示。 25年度:5基、助成額 95,000円	A	②	昨年度の実績を下回るも、防災計画総合治水に位置する案件でもあるので、今後も推進していく
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	公共施設における雨水貯留施設の整備	都市建設部	施設課	建築・下水道グループ	継続		公共施設における雨水貯留施設の整備	公共施設における雨水貯留施設の整備の検討をする。	0					検討したが実施なし	D	④	第三市営住宅EV設置工事について検討を実施したが、雨水の利用が見込めないため、未実施とした。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	公共施設における雨水利用の促進	総務部	契約管財課	管財係	継続		公共施設における雨水利用の促進	雨水を屋上緑化の散水、トイレの洗浄水に再利用し節水を図っている。	0					年間中水使用料 1,281m3 雨水タンクに溜まった全量を再利用することができた。女子トイレに擬音装置(音姫)を設置した。	A	①	雨水タンクの全量を再利用した。年度計画以外では女子トイレに擬音装置(音姫)を設置したため。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	①河川防災施設の整備	17	河川防災施設の整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強について、関係機関への働きかけを継続。	例年どおり京浜河川事務所に要望していく。	0					京浜河川事務所に堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強について要望した。	A	①	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強について、関係機関への働きかけを継続している。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	①河川防災施設の整備	17	河川防災施設の整備	都市建設部	施設課	公園グループ	継続		用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強について、関係機関への働きかけを継続。	多摩川の氾濫による福生南公園をはじめとした河川敷きの公園、緑地、敷地の保護、未燃の防災対策を関係機関に要望していく。なお、平成25年度も引き続き国土交通省により南田園水衛部対策工事を実施することになっている。	0				1回	B	②	特に実施したことはないが、継続的に要望を実施していく。	
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	②川の自然観察等の促進	17	福生水辺の楽校	生活環境部	環境課	環境係	継続		福生水辺の楽校の学習プログラム等を通し、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深める。	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」、「多摩川サポーターズ」で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施。	1,400,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	福生水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全12回(1回中止)、412人。 福生水辺の楽校“多摩川サポーターズ”全4回(1回中止) 70人。	B	①	水辺の楽校運営協議会への委託事業。毎年参加者から好評を得て実施している。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	③河川環境保全活動の推進	17	河川環境保全活動の推進	都市建設部	施設課	公園グループ	継続		市民による河川一斉清掃を行い河川植生の再生などを支援。	市民ボランティアの協力による多摩川河川清掃を実施していく。	0					1回	A	①	例年通り環境フェスティバルと同時実施。
自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	③河川環境保全活動の推進	17	カワラノギクプロジェクト	生活環境部	環境課	環境係	継続		多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。	カワラノギクプロジェクトにより河川植生の再生などを支援。	0					年間5回に渡る保全活動のボランティア募集広報とともに活動へ参加した。	A	①	毎回活動に参加し、植生の再生支援ができた。
自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	①まとまった樹林地の確保	19	まとまった樹林地の確保	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		自然度の高い樹林地の連続性を保ち、都市計画公園や都市計画緑地として確保するため、緑の基本計画と併せ取り組む。	継続して緑地の確保に努めたい。	0					宅地開発等の事前打ち合わせ時などに緑地の確保量について事業者の説明を行った。	B	②	宅地開発等の事前打ち合わせ時などに緑地の確保量について事業者の説明している。
自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	生垣保存協定補助制度	生活環境部	環境課	環境係	継続		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、10年以上にわたる生垣の設置にかかる費用の補助制度により持続性の高い方法で保全。	生垣の設置にかかる費用の補助	80,000	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	生垣設置1件、延長16m	A	①	申請内容について、慎重かつ、丁寧な対応を取っている。

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等							
						部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由				
自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	再掲	東京都景観保全条例による規制、開発指導要綱による指導をはじめ保存樹林地制度の継続、緑地保全地区の指定など、持続性の高い方法で保全。	緑確保の総合的な方針(東京都)に基づき樹林地等の保全に努める。	0								開発指導要綱に基づき指導した。	B	②	緑確保の総合的な方針(東京都)に基づき樹林地等の保全の啓発に努めた。	
自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	保存樹林地指定制度	生活環境部	環境課	環境係	継続		福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地制度の継続により持続性の高い方法で保全。	保存樹林地等の指定及び奨励金の交付。	4,344,911	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費				宅地介在山林(5件・7筆・4,801㎡)、一般山林(4件・7筆・1,348㎡)、保存樹木(41件・185本)、保存生垣(156件・163箇所・延長3,260m)	A	①	奨励金事業としては所有者1件1件に丁寧な対応を取っている。	
自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	①街区公園等の維持管理	20	街区公園等の維持管理	都市建設部	施設課	公園グループ	継続		緑の基本計画に沿い、市街地の身近な公園を適正に維持管理するとともに公園ボランティア制度の促進を図る。	定期的な公園の巡回、公園ボランティアの活用を図ることで市街地の身近な公園を適正に維持管理するとともに公園ボランティア制度の促進を図っていく。	0							32団体・人、延べ1,698人	A	①	ボランティアの活動は順調に行われている。		
自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	②自然再生事業の展開	20	自然再生事業の展開	都市建設部	施設課	公園グループ	継続		都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などについて、その場所にあった自然のあり方を調査するとともに、萌芽更新など自然再生の取り組みを推進。	熊川緑地、原ヶ谷緑地について、その場所にあった自然のあり方を調査するとともに、萌芽更新など自然再生の取り組みを推進していく。	0							1回	C	③	トモダチ公園開園に伴い実施したのみ。今後も展開を図っていく。		
自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	②自然再生事業の展開	20	外来生物現況把握調査委託	生活環境部	環境課	環境係	新規		神社、仏閣、蔵、木造住宅の屋根裏等にすみつくアライグマやハクビシンなどの外来性動物の生態系現況把握調査及び捕獲防除することで、生態系の保全、農業・漁業被害、狂犬病などの感染症予防を図る。	外来性動物の生態系現況把握調査及び捕獲防除を委託により行う	898,800	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費				特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの市内での生息状況、被害状況の把握並びに捕獲防除による自然生態系の保全、農産物被害、感染症被害等の未然防止を目的に、生息状況調査、捕獲、防除等を実施。目撃情報アライグマ6件、ハクビシン10件、捕獲防除アライグマ2頭、ハクビシン2頭。	A	①	現況調査により、市内の生息状況の把握ができた。	
自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	③林の自然観察等の促進	20	林の自然観察等の促進	都市建設部	施設課	公園グループ	継続		生態系や生物多様性の調査・観察会など、市民団体の様々な活動を支援するとともに、外来種の野生化に関する知識など生物多様性の確保について市民へ情報提供。	緑地樹木等調査委託の結果を基に、生態系や生物多様性の確保について調査、研究していく。	0							0回	D	④	調査に基づいた研究等が十分に出来ていない。		
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①景観まちづくり事業の推進	22	景観まちづくり事業の推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		まちづくり景観基本計画に基づき、重点的の事業を推進。また、まちづくり景観推進連絡会、まちづくり景観審議会などの推進体制により景観形成を進めていく。	前年度と同様に、まちづくり景観推進連絡会等と景観について検討する。	0								景観推進連絡会と毎月1回の会議を実施した。	A	①	景観推進連絡会は月例会を開催し、長岡市への視察を行った。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①景観まちづくり事業の推進	22	景観まちづくり事業の推進	都市建設部	施設課	道路グループ	継続		まちづくり景観基本計画に基づき、重点的の事業を推進。また、まちづくり景観推進連絡会、まちづくり景観審議会などの推進体制により景観形成を進めていく。	引き続き景観に配慮した歩車共存道として市道第1160号線(宿橋通り)の改良工事を実施する。※予算は東電・NIT分	19,087,358	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費	市道第1160号線改良事業費				東京電力及びNTTに引込み連系管の設置工事を委託した。	A	①	東電・NTTによる委託工事が予定通りに完了した。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	アメリカシロヒトリ防除	生活環境部	環境課	環境係	継続		多摩川の堤防沿いの桜に発生するアメリカシロヒトリを防除し、美しい緑を守る。	多摩川の堤防沿いの桜に発生するアメリカシロヒトリを防除し、美しい緑を守る。	50,715	農林水産業費	農業費	緑化推進費	アメリカシロヒトリ防除費				2ヶ所、21本の樹木について防除を行った。	A	①	多摩川の堤防沿いの桜に発生する害虫を防除することで、春に桜の花の開花を見ることが出来る。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	再掲	自然・歴史・文化的景観資源を調査し、その場の雰囲気を保ちつつ保全・活用を進める。	毎月、まちづくり景観推進連絡会を開催する。また、景観フォーラムを開催する。	49,764								景観推進連絡会主催で3月23日に景観フォーラムを開催した。参加者数47名	A	①	景観フォーラムについては3月23日に開催できた。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	市民ボランティア文化財ガイド事業	教育委員会	生涯学習推進課	文化財係	新規		文化財ガイド養成講座修了者による市内文化財ツアー等の実施	市内文化財ツアー等を現在検討中	35,962								4回実施・参加者100名	A	①	多数の参加者があり、内容も大変好評であった。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	多摩川堤防沿桜管理	生活環境部	環境課	環境係	継続		多摩川の堤防沿いの桜の管理を行う	多摩川の堤防沿いの桜の管理を行う(247本)	1,155,000	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費					多摩川堤防沿いの桜の支障枝の剪定。台風により折れた2本の桜の枝を部分伐採。	A	①	多摩川堤防沿いの桜の支障枝等の剪定等管理を行った。桜ソメイヨシノ247本
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	わくわく土曜日「自然観察会」	教育委員会	生涯学習推進課	文化財係	継続		郷土資料室事業「わくわく土曜日」のプログラムの一つとして、文化の森を中心に動植物の観察を行う。	自然観察会の開催(年2回予定)(講師謝礼)	40,000								2回実施・参加者13名	A	①	参加者は例年並みだが、内容は大変好評であった。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③違反広告物の撤去	22	違反広告物撤去協力員制度	都市建設部	施設課	管理グループ	継続		道路沿線の捨て看板、街中の張り紙など景観阻害物の撤去を進める違反広告物撤去協力員制度を推進。	違反広告物の撤去活動を実施する。	0								違反広告物撤去協力員20団体・138名 はり紙6枚、はり札432枚を撤去	A	①	違反広告物自体が少なくなってきた。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	④清潔で美しいまちの維持	22	清潔で美しいまちの維持	都市建設部	施設課	管理・道路グループ	継続		廃棄物減量等推進員のパトロールや町会・自治会の一斉清掃を継続し、ごみが捨てられにくい環境を維持。	平成23年7月1日に福生市清潔で美しいまちづくり条例が制定されたことを踏まえて、市内を定期的に巡回し、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。	0								町会・自治会による熊川分水の一斉清掃を平成25年6月2日に実施した。	A	①	継続して実施することができた。	

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等			
						部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	④清潔で美しいまちの維持	22	清潔で美しいまちの維持	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		町会・自治会の一斉清掃を継続し、ごみが捨てられにくい環境を維持。	市内を定期的に巡回し、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。また、町会・自治会の一斉清掃を継続する。	3,033,030	衛生費	清掃費	清掃総務費	清潔で美しいまちづくり事業費	清潔で美しいまちづくり事業委託にて市内清掃と条例周知を行った。週3回、4人にて巡回町会・自治会一斉清掃実施。参加人数1,929人	A	①	一斉清掃は町会行事として定着しており、また清潔で美しいまちづくり事業委託によるパトロールなども認知されてきており、市民に良い影響を与えている。
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	①玉川上水沿いの遊歩道化	23	玉川上水沿いの遊歩道化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	再掲	国指定史跡文化財「玉川上水」の歴史的環境と自然環境の保全を基本に、遊歩道化実現可能区間における歩行ルートの確保をめざした取り組みを進める。	現地にて、車道の通行止めを実施し、データを基に福生警察署とまちづくり景観推進連絡会とで協議していく。	0					継続して関係機関と調整した。	B	②	継続して関係機関と調整中である。
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	②散策路のネットワーク化	23	散策路のネットワーク化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	再掲	緑の多い安心して歩ける道をつなぎ、散策路のネットワーク化をめざす。	玉川上水の遊歩道を作るために、清岩院橋付近の一方通行路を通行止にして、渋滞の状況を調査する。	0					継続して関係機関と調整した。	B	②	継続して関係機関と調整中である。
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	③熊川分水を活かすまちづくり	23	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		熊川分水を活かしたまちづくりを進めるため、水路の保存や水辺の環境整備に努める。同時に安全な歩行空間となるようなモデル的な取り組みに努める。	前年度と同様に、熊川分水に親しむ会と協働して熊川分水の保全についてさらに検討を進める。また、公民館の主催である、こども自然探検隊等を開催し片倉跡地を有効利用していきたい。	0					熊川分水に親しむ会と協働して熊川分水の保全についての検討を進めた。	A	①	熊川分水に親しむ会と協働して熊川分水の保全についての検討を進めている。
潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	③熊川分水を活かすまちづくり	23	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	施設課	道路・公園グループ	継続		熊川分水を活かしたまちづくりを進めるため、水路の保存や水辺の環境整備に努める。同時に安全な歩行空間となるようなモデル的な取り組みに努める。	熊川分水の清掃活動を行うとともに、分水を活かしたまちづくりを進め、水路の環境整備に努めていく。	0					1回	C	③	南公園でビオトープを作り分水の活用を実施したが、今後更に研究が必要。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	①地域バリアフリーの推進	25	地域バリアフリーの推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざします。	都市計画マスタープランの策定において、バリアフリー推進計画に基づき関係機関と連携して進める。	0					平成26年3月に改定した都市計画マスタープランの中にバリアフリーについて盛り込んだ。	A	①	都市計画マスタープランの内容についてはバリアフリーの視点にたった見直しを行っている。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	①地域バリアフリーの推進	25	地域バリアフリーの推進	都市建設部	施設課	道路・公園グループ	継続		バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざします。	第2期バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に推進、誰もが安心して生活し、移動できるネットワーク化を取り入れた都市づくりを目指していく。	0					1回	A	①	新規にトモダチ公園を開園し、だれでもトイレをはじめ、バリアフリー化した施設の設置を行った。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	①地域バリアフリーの推進	25	地域バリアフリーの推進	福祉保健部	社会福祉課	庶務・福祉計画担当	継続		バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざします。	まちのバリアフリーを総合的に推進し、新築、改築等については東京都福祉のまちづくり条例に基づき、設計段階から指導していく。	0					バリアフリー推進計画における施設のバリアフリーでは、道路2件、公園2件、建築物等3件の整備が図られた。	A	①	東京都福祉のまちづくり条例に基づく整備基準を準用かつ順守した。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	②中心商業地区の安全化・快適化	25	福生市商店街振興プランの推進	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続		商店街振興プランに基づき、商栄会等、関係機関と連携し、駅周辺商業地域の再生をめざし買い物・交流の街づくりを進める。	市内の空き店舗を活用してコミュニティビジネス事業を創業しようとする者に対して、その経費の一部を助成する。	50,000	商工費	商工費	商工業振興費	商工業振興費	空き店舗対策事業補助金事業(1件)を実施した。	A	①	事業実施により、地域の再生をめざし買い物・交流の街づくりを進めることができた。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	③生活道路の安全化	25	生活道路の安全化	都市建設部	施設課	道路グループ	継続		地域や警察署と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、「歩車共存」の生活道路整備を推進。	地域や警察署、相武国道、東京都と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、ネットワーク化された「歩車共存」の生活道路整備を推進。平成25年度も引き続き宿橋通りの工事を実施。	19,087,358	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費	市道第1160号線改良事業費	東京電力及びNTTに引込み連系管の設置工事を委託した。	A	①	東電・NTTによる委託工事が予定通りに完了した。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	④道路美化ボランティア制度の促進	25	道路美化ボランティア制度の推進	都市建設部	施設課	管理グループ	継続		道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図る。	・道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図る。 ・道路美化ボランティアを増やす。	0					道路美化ボランティア18団体・373名	A	①	平成25年度は、新たに150名の道路美化ボランティア新規登録があった。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	①住宅や事業所などの緑化	26	住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図る。	宅地開発指導要綱に基づいた指導を行っていく。	0					宅地開発指導要綱に基づいた指導を行った。	A	①	継続して宅地開発指導要綱に基づいた指導を行っている。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	26	公共施設等の緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。緑の基本計画に基づき保全に努める。	0					平成26年3月に策定した緑の基本計画に基づいて保全に努めた。	A	①	緑の基本計画に基づき保全に努めている。
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	26	公共施設等の緑化	都市建設部	施設課	建築グループ	継続		公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。また、その後の適正な維持管理に努めていく。	0					福生第六小学校校庭改良工事 芝生設置 315㎡ 予算科目 教育費 決算額 ¥13,324,138円のうち 芝生経費 ¥2,779,879円	A	②	平成26年度 七小 平成27年度 五小にて完了
潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	③生産緑地の保全・活用	26	市民農園整備	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続		市民農園の借り上げ体験型農園の展開などの検討	市民農園の管理・整備を行う	984,480	農林水産業費	農業費	農業振興費	市民農園管理費	市民農園3園の更新工事を行った。	A	①	2年間の使用期間を終了し、更新工事を行った。

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系	頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等			
			部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
潤い豊かな安心できるまちの創造	26	③生産緑地の保全・活用	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	生産緑地などを保全するとともに都市農業への支援策を推進。	福生市農業振興計画において重点項目としている生産緑地の追加指定を推進し、農地の保全を図る。	0					地区担当農業委員により農家の意向を把握してもらっているが、特に希望がないことから、生産緑地の追加指定については行わなかった。	D	④	特に農業者から追加指定の希望がなかったため、実施をしなかった。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	26	③生産緑地の保全・活用	生活環境部	環境課	環境係	継続	生産緑地などを保全するとともに都市農業への支援策を推進。	自然とともに暮らす楽しみ、自分らしいエコスタイルの発見、畑で大豆栽培、クラフト、保存食作り、収穫した大豆で豆腐作りを行う講座を開催する。	590,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	ダイズ栽培、クラフトアート、豆腐、味噌作り。全6回。延べ275人。	A	①	事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	26	④花や緑のあるまちづくり	生活環境部	環境課	環境係	継続	中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内の花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開する。	多摩川中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内の花壇管理を行う。	294,000	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	福生野球場植込み地管理工46㎡×6回、長徳寺段下花壇管理工70㎡×3回、100㎡×1回、中央川中央公園花壇管理工210㎡×4回	A	①	中央公園、長徳寺崖線、福生野球場内の花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開した。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	26	④花や緑のあるまちづくり	生活環境部	環境課	環境係	継続	花と緑のあるまちづくりのため春と秋の花いっぱい運動に合わせたふっさ花とみどりの会の活動により、花いっぱいに満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。	ふっさ花とみどりの会へ委託し、花いっぱい運動(春・秋の2回)に合わせた花植えやコンテストを行う。	667,000	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	春と秋の花いっぱい運動やふっさ花とみどりの会の活動により、やなぎ通りや国道16号の植栽を通し花いっぱいに満ちあふれたまちづくり事業を展開した。	A	①	春と秋の花いっぱい運動、プランターや植栽ますの植栽を通し、市内を花いっぱい潤すことができた。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	26	④花や緑のあるまちづくり	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	花と緑のあるまちづくりのため春と秋の花いっぱい運動を行い、花いっぱいに満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。	グリーンクラブ福生へ花苗の生産及び配布委託を行う。(環境課で行う花いっぱい運動にあわせて庁舎、福生野球場へ花苗の配布及び植栽を行い、町会や学校、保育園、商工会等の各団体へ花苗の配布を行う。)	7,264,940	農林水産業費	農業費	農業振興費	農業振興費	グリーンクラブ福生へ草花苗の生産委託を年2回行った。	A	①	緑豊かな環境づくりに寄与した。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	26	⑤公園ボランティア制度の促進	都市建設部	施設課	公園グループ	継続	市民や地域による公園の維持管理を促進し、公園がコミュニティ活動の場となるような取り組みを進める。	市民や地域による公園の維持管理を促進し、市民自らが公園を守ることで、公園がコミュニティ活動の場となるような取り組みを推進していく。	0					32団体・人、延べ1,698人	A	①	十分に活動が行われている。	
潤い豊かな安心できるまちの創造	26	⑥人と動物の共生	生活環境部	環境課	環境係	継続	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。	市民団体と協力し地域ネコ制度等のPRに努めるとともに飼い主のモラルの向上を働きかける。団体に去勢・不妊手術費の助成を行う。	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	地域猫の会3団体が市内10地区で飼い主のいない猫80匹(オス38匹・メス42匹)に去勢・不妊手術をした。	A	②	地域猫活動を通じて地域住民がつながれるよう支援を行ってきた。対応は非常に難しい。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合	28	②ごみを減らす生活の呼びかけ	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみの発生抑制のため、無駄なもの断る・買わないから始め、大切に使うこと、不要となった場合の有効利用を考慮した消費行動・事業活動を呼びかける。	広報ふっさ、清掃だより等によりPR。	671,883	衛生費	清掃費	清掃総務費	清掃事務費	広報ふっさ(毎月15日号)にて、ごみ・資源収集情報を掲載。清掃だよりにてごみ減量を呼び掛け。	A	①	ごみの収集量は年々減少している。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合	28	③事業系一般廃棄物の減量	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	事業系一般廃棄物処理計画書の指導など事業活動に伴う一般廃棄物の効果的な排出抑制につながる方法の工夫。	事業所に対して減量を呼び掛け。	0					各事業所から事業系一般廃棄物処理計画書を提出していただくことにより、ごみ減量と資源化を呼び掛けた。	A	③	事業系ごみの処理量が増加した。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合	28	④拡大生産者責任に基づく事業活動への呼びかけ	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみ減量化や資源循環に向けた、経済活動・システムへの変革について、拡大生産者責任の原則に基づく事業者責任の強化・明確化を図るなど、自治体に配慮した制度の着実な実施を国に要望するとともに、市内における資源循環型事業活動への転換を呼びかける。	レジ袋削減、簡易な包装など、ごみになるものを削減していくことを事業者へ呼び掛け。	0					各種リサイクル法に関する拡大生産者責任をより明確にし、市町村の負担軽減が図れるよう国に働きかけられたいと、東京都市長会に継続要望した。	A	②	レジ袋を有料化している店舗は増加してきている。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合	29	①分別による資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみの適切な資源化・処理が行われるように、排出時点での混入を防止するため分別・収集区分を明確化する。	ごみ分別の徹底。廃棄物減量監視事業の実施。	1,071,105	衛生費	清掃費	塵芥処理費	収集運搬費	ごみ収集体制変更に伴う説明会を14回実施した。小型家電回収ボックスを本庁舎とリサイクルセンターに設置した。・廃棄物減量監視事業の実施。週2回、2人従事	A	①	ごみの収集量は年々減少している。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合	29	②生ごみ等資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	生ごみや剪定枝の資源化に向けた様々な収集・資源化等処理方法を研究し、有効利用されるよう努める。	環境フェスティバルにおいて、コンポスト等の周知により、生ごみのたい肥化を啓発。市民に対してPRの徹底。	104,475	衛生費	清掃費	ごみ減量対策費	ごみ減量対策費	環境フェスティバルにおいて、コンポストの周知により、生ごみのたい肥化を啓発した。生ごみ堆肥化容器を16基無償貸与した。	A	①	可燃ごみの収集量は年々減少している。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合	29	③廃プラスチック類の処理	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	リサイクルにかかわるエネルギー消費等も考慮しながら、廃プラスチック類の資源化技術の革新に応じ、再利用・再利用、熱回収などの処理方法・分別区分を改善する。	容器包装プラスチックの回収日の増加の検討。	0					容器包装プラスチックの回収日の増加の検討。	A	①	容器包装プラスチックの回収日を増加することを決定した。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合	29	④地域リサイクルシステムの強化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	市民・事業者等による地域での再利用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努める。	資源回収実施団体報償金制度を拡充し、地域リサイクルシステムを強化する。	17,044,927	衛生費	清掃費	ごみ減量対策費	ごみ減量対策費	資源回収実施団体に対し、報償金を交付した。資源回収実施団体79団体 実施回数820回	A	②	前年度より実施回数が減少した	

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等				
						部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由	
暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	④地域リサイクルシステムの強化	29	フリーマーケット	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続		定期的なフリーマーケット開催を支援することで、消費者自らが時代に即応した確かな目でものを見分け、自らの力で自主的、合理的な消費生活の実現をめざして行動することを支援する。	自由広場フリーマーケットの開催(年4回) 商店街等が実施するフリーマーケットの周知。	0						年4回実施(3月は荒天のため中止)。出店者数146店(6月:52店、9月:32店、12月:62店、3月:中止)	A	①	自主的、合理的な消費生活の実現の支援ができた。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	⑤適正な中間処理・最終処分の推進	29	適正な中間処理・最終処分の推進	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		エコセメント化など、最終処分場の延命化を進めるとともに、有害ごみ等の処分の適正さを確保する監査に努める。	埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底、資源化の検討。	0						埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底、資源化の検討。	A	①	埋め立てごみは年々減少している。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	①地球温暖化対策の推進	32	省エネ、エコを学習する講座の実施	教育委員会	公民館	松林分館	継続		環境にもやさしくエコで快適な暮らしができるような家事を学習する。また、家庭でできる省エネなどを学ぶ。	身近な暮らしの中で省エネを図り、地球温暖化対策への取り組みを考える学習会を実施する。	94,000	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費		みんなで楽々家事～収納・掃除編～講座3回実施 ～洗濯・DIY・料理・省エネ編～講座4回実施 延参加者数105人	A	①	講座実施により、市民に省エネ・エコライフ推進の学習機会を与えることができた。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	①地球温暖化対策の推進	32	福生街なか涼み処、福生街なか温み処	生活環境部	環境課	環境係	継続		「福生街なか涼み処・温み処」事業として、市民が家庭での節電対策として公共施設の活用を促す。	夏は「福生街なか涼み処」、冬は「福生街なか温み処」として家庭での節電や熱中症対策等として公共施設を活用した事業を実施。	0						家庭での節電対策として、夏季は「福生街なか涼み処」、冬季は「福生街なか温み処」を公共施設10箇所で開催した。	A	①	2030年までに温室効果ガスの50%削減という、非常に大きな目標を掲げている。その中で公共市施設を利用し、少ない予算で事業展開ができた。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	②自然・省エネルギーへの転換	32	住宅用省エネルギー・新エネルギー設備助成金	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	住宅用省エネルギー・新エネルギー設備を新たに設置した市民に対して助成金を交付する。太陽光発電システムなど5設備が対象。	住宅用省エネルギー・新エネルギー設備を新たに設置した市民に対して助成金を交付する。太陽光発電システムなど5設備が対象。	4,000,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費		助成件数50件(太陽光発電38件、CO2冷媒ヒートポンプ給湯器9件、燃料電池3件)	A	①	2030年までに温室効果ガスの50%削減という、大きな目標を掲げている。少ない予算で可能な事業展開を図った。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	③省エネカーの普及	32	省エネカーの普及	総務部	契約管財課	管財係	継続		自動車交通による大気汚染物質、温室効果ガスの排出を低減するため、省エネカーの普及に取り組む。	公用自転車及び電動アシスト自転車の積極的利用を促進する。補助金等予算措置が可能となれば、環境対応車への買い換えに取り組む。	0						電動アシスト自転車5台及び自転車13台の積極的利用を促した。平成24年度までに庁舎の公用車4台について環境対応車に買い換え。公用車のタイヤ空気圧等の点検を毎月行い省エネに取り組んだ。庁内ネットワークの掲示板でやさしい運転で人、環境、車に優しい運転の啓発を行った。	A	①	庁舎の公用車4台について環境対応車に買い換え。平成24年度までに庁舎の公用車4台について環境対応車に買い換え。公用車のタイヤ空気圧等の点検を毎月行い省エネに取り組んだ。庁内ネットワークの掲示板でやさしい運転で人、環境、車に優しい運転の啓発を行った。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	③省エネカーの普及	32	次世代モビリティ活用モデル事業	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	電気自動車のカーシェアリング、電動アシスト自転車のサイクルシェアリングが、低炭素な移動手段として実証実験を行う。また、電気自動車の走行に不可欠な電気自動車用急速充電器を24時間開放し、電気自動車普及に協力する。	平成26年度の事業を見据え、継続して実証実験を継続実施。急速充電器は有料化を検討。	12,607,848	衛生費	保健衛生費	環境保全費	次世代モビリティ活用モデル事業費		平成25年度で実証実験は終了し、カーシェアリングは終了、サイクルシェアリングは平成26年度から本格実施とした。カーシェアリング実績:会員数67名、総走行距離15,748km サイクルシェアリング実績:会員登録数338名、総利用時間数83,654分 平成25年10月1日より急速充電器の有料化開始。	A	①	実証実験により、カーシェアリング民間業者が市内に参入した。サイクルシェアリングは新たな公共交通システム等の効果が期待できるため本格実施とするための判断を行うことができたため。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	32	次世代モビリティ活用モデル事業	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	電気自動車のカーシェアリング、電動アシスト自転車のサイクルシェアリングが、低炭素な移動手段として実証実験を行う。また、電気自動車の走行に不可欠な電気自動車用急速充電器を24時間開放し、電気自動車普及に協力する。	平成26年度の事業を見据え、継続して実証実験を継続実施。急速充電器は有料化を検討。	12,607,848	衛生費	保健衛生費	環境保全費	次世代モビリティ活用モデル事業費		平成25年度で実証実験は終了し、カーシェアリングは終了、サイクルシェアリングは平成26年度から本格実施とした。カーシェアリング実績:会員数67名、総走行距離15,748km サイクルシェアリング実績:会員登録数338名、総利用時間数83,654分	A	①	実証実験により、カーシェアリング民間業者が市内に参入した。サイクルシェアリングは新たな公共交通システム等の効果が期待できるため本格実施とするための判断を行うことができたため。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	32	自転車のまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課		継続		自動車依存から自転車使用の促進をめざし、自転車のまちづくりの条件整備に取り組む。同時に放置自転車対策を強化。	都市計画マスタープランに基づいて、検討を進める。	0						平成26年3月に改定した都市計画マスタープランの中に自転車について盛り込んだ。	B	②	都市計画マスタープランの内容については歩行者・自転車利用の視点にたった見直しを行っている。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	32	自転車のまちづくり	都市建設部	施設課	管理・道路グループ	継続		自動車依存から自転車使用の促進をめざし、自転車のまちづくりの条件整備に取り組む。同時に放置自転車対策を強化。	環境的な面や健康づくりの観点から市民の自転車使用の促進をめざし、安全・安心な自転車のまちづくりの条件整備に取り組む。同時に放置自転車対策を推進していく。	0						放置自転車103台を回収した。	A	①	放置自転車は、1週間程度の待機期間後、速やかに回収した。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	32	自転車のまちづくり	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係	継続		自動車依存から自転車使用の促進をめざし、自転車のまちづくりの条件整備に取り組む。同時に放置自転車対策を強化。	駅周辺への放置自転車を一掃すべく、引き続き指導・撤去・保管業務を委託する。駅前放置自転車クリーンキャンペーンの実施	12,232,080	総務費	総務管理費	交通安全対策費	駅周辺放置自転車等対策費		指導627台 撤去839台 返還549台 自転車クリーンキャンペーン4回	A	②	継続して実施しているが、放置自転車が無くなる見込み。
暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	⑤公共交通の利用促進	32	公共交通の利用促進	企画財政部	企画調整課	基・渉外担当	継続		市内交通需要の転換をめざし、鉄道・バス等の公共交通機関の利用促進に取り組む。	JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利便性向上等、関係する協議会等を通じて要請する。 ※決算額は関係する協議会等負担金	80,000	総務費	総務管理費	一般管理費	渉外費		JRへの要望活動(4回) 協議会等負担金 80,000円	A	①	JRを含む公共交通機関の利用促進のための利便性向上に向けて、関係する協議会等を通じて継続して要請を行っている。

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系	頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等						
			部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由			
暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み 公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	各種苦情処理	生活環境部	環境課	環境係	継続	騒音、振動、悪臭などの原因者への指導の徹底、生活公害の啓発を行う。	各種苦情処理について丁寧に対応していく。	0					市民からの苦情について、迅速に丁寧に対応した。(175件)	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み 公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	各種分析委託(公害)	生活環境部	環境課	環境係	継続	環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とする。	多摩川及び雨水管、市内施設等で、水質、大気について定期的な測定調査・分析を実施する。	1,730,820	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	市内の水質、大気といった公害の防止を進めるための実態調査を行った。また、市民等からの苦情についても、迅速に丁寧に対応した。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み 公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	航空機騒音測定器保守委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	航空機騒音測定を実施する(市役所屋上・熊川誘導灯付近)。	航空機騒音測定を実施する(市役所屋上・熊川誘導灯付近)。	346,500	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	市内の航空機騒音といった公害の防止を進めるための実態調査を行った。また、市民等からの苦情についても、迅速に対応した。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に積極的に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み 公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	自動車騒音公害面的評価事業委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	市内でセンサス区間に指定されている幹線道路20箇所(1箇所は毎年)の自動車騒音調査を5箇年以内にすべて行う。	自動車騒音調査:5箇所	987,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	市内の自動車騒音、振動等の公害の防止を進めるために、市内でセンサス区間に指定されている幹線道路の自動車騒音調査を5箇所行った。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み 公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	横田基地航空機騒音対策の推進	企画財政部	企画調整課	基地・渉外担当	継続	横田基地における騒音被害を軽減する要請を継続。	市議会、横田基地周辺市町及び東京都と連携を取りながら、国及び米軍に対し航空機騒音対策を要請する。 ※決算額は関係する協議会等負担金	229,000	総務費	総務管理費	一般管理費	渉外費	国及び米軍に対しての要望活動(20回) 協議会等負担金 229,000円	A	①	関係市町及び東京都と連携を取りながら騒音監視測定を継続するとともに、必要に応じ関係機関に対し航空機騒音対策を要請している。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み 公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	33	東京都環境・公害事務連絡協議会	生活環境部	環境課	環境係	継続	26市で構成する東京都環境・公害事務連絡協議会への参加し、近隣市との連絡調整・情報共有等を行う	協議会6回、研修会等2回(負担金)	5,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	協議会6回、研修会等2回に参加。	A	①	環境に関する法改正や新たな環境問題の対応について、他市と有用な情報交換ができた。	
暮らし方の変革・地球システムへの適合		地球環境問題・公害等への取り組み 公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	33	有害化学物質対策の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続	都環境確保条例に基づく事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集・提供、拡散防止に取り組む。	アスベストやその有害化学物質の発生・発見について、速やかな情報収集・情報提供・報告等を行っていく。	0					市内のアスベストやその有害化学物質等の公害防止を進めるための速やかな情報収集・情報提供・報告等を行っていった。また、市民等からの苦情についても、迅速に丁寧に対応した。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。	
環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進		34	環境学習教員研修	生活環境部	環境課	環境係	継続	小・中学校教員対象の環境教育研修会を開催する。	小・中学校教員対象の環境教育研修会を開催する。 予算:講師謝礼	51,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	新規採用1、2年目の教員を対象に環境学習教員研修を2日間実施した。第1回フィールドで学ぶ「水質調査、生物調査、川の安全学習」(14人)、第2回福生の水と緑を歩く(13人)	A	①	小・中学校教員対象に環境教育研修会を確実に実施した。	
環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進		34	「ごみのゆくえ」作成	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	小学生を対象とした環境教育の推進	・小学校4年生の社会科学習において、活用するため「ごみのゆくえ」作成する。	97,650	衛生費	清掃費	ごみ減量対策費	ごみ減量対策費	社会科の授業の副読本として一小から七小へ455部配布した。	A	①	可燃ごみの収集量は年々減少している。	
環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進		34	学校における環境教育の推進	教育委員会	指導室	学務・指導係	継続	学校での環境教育の推進	・小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆくえ」(環境課作成)を活用。 ・各学校で総合的な学習の時間等において、環境教育に係る取組を実施する。	78,000					・小学4年生の社会科学習において、資料として「ごみのゆくえ」を活用 ・総合的な学習の時間等に学習活動市民講師を活用(活動回数 27回)	A	①	・小学4年生の社会科学習に福生市作成の資料を活用することで、児童の地域への参画意識を高めた。 ・学習活動市民講師を活用した環境教育を実施した。	
環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進		34	環境学習教員研修	教育委員会	指導室	学務・指導係	継続	再掲	学校の環境教育を支援する体制の整備として環境課主催の環境学習教員研修への教員の参加	小・中学校教員対象の環境教育研修会(環境課)へ教員を参加させ、環境教育の体制整備を図る。	0					実施回数 4回 8/22(午前・午後):参加者14人 8/23(午前・午後):参加者15人	A	①	小・中学校教員対象の環境教育研修会を通じて、教員の資質向上を図った。
環境教育・学習の推進		①学校における環境教育の推進		34	理科支援員報奨金	教育委員会	指導室	学務・指導係	継続	再掲	学校の環境教育を支援する体制の整備として理科支援員を配置	小学校5・6学年、中学校全学年に理科支援員を配置し、理科授業の実験・授業等の補助を行う。	1,097,520	教育費	教育総務費	教育委員会費	理数教育推進事業費	理科支援員活動時間 1,076時間	A	①	理科支援員を有効に活用し、理科学習の効果的な展開を図った。

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系	頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等								
			部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由					
環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進					34	学習指導市民講師謝礼	教育委員会	指導室	学務・指導係	継続		学校の環境教育を支援する体制の整備として学習指導市民講師による指導を行う。	学習指導市民講師(NPO法人自然環境アカデミー)による指導の実施を行う。	78,000	教育費	教育総務費	教育指導費	教育指導事務費	学習活動市民講師活動回数26回(再掲)	A	①	平成24年度実績14回を上回る活用
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	川の志民館の運営	生活環境部	環境課	環境係	継続		市民と行政がすすめる多摩川リバーミュージアムプラン(自然・歴史・文化情報の収集・発信の支援、水と緑を中心とした学習・研究活動の展開、多摩川をフィールドとした環境学習の展開支援、自然を大切に「まちづくり」への各種活動の展開)を目的とした運営拠点施設の維持管理	川の志民館の運営(予算は警備委託費)	176,400	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	川の志民館の常時集中監視及び、異常を感じた際の対応。実施状況を月単位で報告。8月に2回防犯異常受信。対応済み。	A	①	8月に2回の防犯異常を受信し、対応してもらったが、対応後の連絡等も迅速に行われた。
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	協働のまちづくり市政出前講座	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		市民で構成する団体が開催する学習活動の場により市職員を講師として派遣し、市政の現状を学ぶ機会や行政情報を提供する機会の拡充を図る。	80講座(官公署を含む)により市政出前講座を実施する。	0					実施件数 36件 受講者数 1,392名	A	①	実施件数の増加
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	市民ボランティア文化財ガイド事業	教育委員会	生涯学習推進課	文化財係	新規	再掲	文化財ガイド養成講座修了者による市内文化財ツアー等の実施	市内文化財ツアー等を現在検討中	35,962					4回実施・参加者100名	A	①	多数の参加者があり、内容も大変好評であった。
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	地域・市民の環境学習の推進	教育委員会	公民館	公民館係	継続		青少年を対象とした体験・学習機会の拡充	自然体験活動の充実を図る(夏休み自然体験教室、自然体験スタッフ養成講座の実施)。	408,000	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費	自然体験教室1回9日、延べ122名参加	B	②	スタッフ養成講座は、参加1日、1名で、独立した講座としてはなく、自然体験教室への同行として行ったため。
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	夏休み子ども見学会	教育委員会	生涯学習推進課	文化財係	継続		子どもを対象とした学習施設の見学	夏休み子ども見学会を実施する(葛西臨海水族園等1回)。	6,900					1回実施・参加者26名	A	①	多数の参加者があり、内容も大変好評であった。
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	地域・市民の環境学習の推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		まちづくり景観推進連絡会と今後も調整しながら定期的に会議を進めていく。また、景観フォーラムを開催する。	まちづくり景観推進連絡会と今後も調整しながら定期的に会議を進めていく。また、景観フォーラムを開催する。	49,764					景観推進連絡会主催で3月23日に景観フォーラムを開催した。参加者数47名	A	①	景観フォーラムについては3月23日に開催できた。
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	ふっさ環境フェスティバル	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境にやさしいライフスタイルや自然との共生について関心を高める	ふっさ環境フェスティバルの実施(6/2)	1,100,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	実施日6月2日、参加団体40団体、来場者4,200人	A	①	イベントや事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	福生水辺の楽校	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	子どもや親子を対象とした体験・学習機会の拡充	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」、「多摩川サポーターズ」で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施。	1,400,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」全12回(1回中止)412人。 福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」全4回(1回中止)70人。	B	①	水辺の楽校運営協議会への委託事業。毎年参加者から好評を得て実施している。
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	みどりのカーテン講習会	生活環境部	環境課	環境係	継続		みどりのカーテンを推奨し、促進するため講習会を実施し地域・市民の環境学習を推進する。	みどりのカーテン講習会を実施し、市民のみどりのカーテンへの取組みを支援する。	[152,750]					講習会には多くの参加申込みがあった。参加者からは講習会での内容を理解し、みどりのカーテンを成功させたとの報告があった。	A	①	
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	市民環境大学「ふっさECOカフェ」	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	地域・市民団体等による環境学習の支援	自然とともに暮らすを楽しむ、自分らしいエコスタイルの発見、畑で大豆栽培、クラフト、保存食作り、収穫した大豆で豆腐作りを行う講座を開催する。	590,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	ダイズ栽培、クラフトアート、豆腐、味噌作り。全6回。延べ275人。	A	①	事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。
環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進					34	環境学習講座	生活環境部	環境課	環境係	新規		eco検定の内容を中心とした環境についての学習講座の実施	市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とし、全5回の環境学習講座とeco検定(環境社会検定試験)合格を目指す方に向けた直前講座を実施する。	[30,710]					全5回の環境学習講座と直前講座1回を実施。(環境学習講座参加者9人、直前講座参加者5人)	A	①	学習講座を通じ、市民が環境についての知識を深めることができた。多くの参加者がeco検定に合格することができた。
パートナーシップの確立	協働事業の明確化					35	協働事業について	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		景観調査	まちづくり景観推進連絡会と継続して景観について協議していく。	0					景観推進連絡会を毎月開催した。	A	①	景観推進連絡会を月例会を開催し、長岡市への視察を行うことができた。
パートナーシップの確立	協働事業の明確化					35	協働事業について	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	再掲	玉川上水遊歩道化調査、散策ガイドマップ作成	玉川上水遊歩道が福生市内で途切れているため、遊歩道の整備について検討していく。	0					玉川上水遊歩道を考える会と調整しながら進めた。	B	②	玉川上水遊歩道を考える会と調整しながら進めることができた。
パートナーシップの確立	協働事業の明確化					35	協働事業について	都市建設部	施設課	管理・公園グループ	継続		萌芽更新等	萌芽更新、公園ボランティア、公園草花植栽、道路美化ボランティア、違反広告物撤去協力員	0					道路美化ボランティア、違反広告物協力員と協働した。	A	①	協働により、市内の景観美化が図られた。
パートナーシップの確立	協働事業の明確化					35	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。	市民団体と協力し地域ネコ制度等のPRIに努めるとともに飼い主のモラルの向上を働きかける。 団体には去勢・不妊手術費の助成を行う。	70,200	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	地域猫の会3団体が市内10地区で飼い主のいない猫80匹(オス38匹・メス42匹)に去勢・不妊手術をした。	A	①	地域猫活動を通じて地域住民がつながれるよう支援を行ってきた。対応は非常に難しい。

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系	頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等			
			部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
パートナーシップの確立		協働事業の明確化						福生スクラムマイナス50%協議会により、みどり東京補助金の活用を図り、環境関連事業への取組みを支援する。	福生スクラムマイナス50%協議会の開催。	0					4事業を実施した。 ①みどりのカーテン大作戦 ②花いっぱい運動 ③環境フェスティバル ④環境学習講座	A	①	協議会を1回開催し、その中で新たな事業を実施。それぞれの実施主体とは連携を図り実施できた。
パートナーシップの確立		協働事業の明確化						定期的なフリーマーケット開催を支援するとともに不要品の交換情報の提供に努める。	自由広場フリーマーケットの開催(年4回) 商店街等が実施するフリーマーケットの周知。	0					年4回実施(3月は荒天のため中止)。出店者数146店(6月:52店、9月:32店、12月:62店、3月:中止)	A	①	自主的、合理的な消費生活の実現の支援ができた。
パートナーシップの確立		町会・自治会への働きかけ						地域主体の環境まちづくり活動	まちづくり景観推進連絡会との協働により、宿橋通りを歩車共存の道路として工事を進めていく。	0					まちづくり景観推進連絡会との協働により、宿橋通りを歩車共存の道路として工事を進めた。	A	①	まちづくり景観推進連絡会との協働により、宿橋通りを歩車共存の道路として工事を進めることができた。
パートナーシップの確立		町会・自治会への働きかけ						地域主体の環境まちづくり活動	公園ボランティア、道路清掃ボランティア、違反広告撤去協力員	0					道路美化ボランティア18団体・373名 違反広告物撤去協力員20団体・138名	A	①	平成25年度は、新たに150名の道路美化ボランティア新規登録があった。
パートナーシップの確立		町会・自治会への働きかけ						地域主体の環境まちづくり活動	一斉清掃及び河川一斉清掃	0					1回	B	②	河川清掃を定例化し、市民の参加を継続して募っていく。
パートナーシップの確立		町会・自治会への働きかけ						地域猫去勢・不妊手術費助成金	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	地域猫の会3団体が市内10地区で飼い主のいない猫80匹(オス38匹・メス42匹)に去勢・不妊手術をした。	A	②	地域猫活動を通じて地域住民がつながれるよう支援を行ってきた。対応は非常に難しい。
パートナーシップの確立		町会・自治会への働きかけ						フリーマーケット	定期的なフリーマーケット開催を支援するとともに不要品の交換情報の提供に努める。	0					年4回実施(3月は荒天のため中止)。出店者数146店(6月:52店、9月:32店、12月:62店、3月:中止)	A	①	自主的、合理的な消費生活の実現の支援ができた。
パートナーシップの確立		町会・自治会への働きかけ						ふっさ花いっぱい運動委託	花と緑のあるまちづくりのため春と秋の花いっぱい運動に合わせたふっさ花とみどりの会の活動により、花いっばいに満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。	667,000	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	春と秋の花いっぱい運動やふっさ花とみどりの会の活動により、やなぎ通りや国道16号の植栽を通し花いっばいに満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。	A	①	春と秋の花いっぱい運動、プランターや植栽ますの植栽を通し、市内を花いっばいに潤すことができた。
パートナーシップの確立		町会・自治会への働きかけ						草花苗生産委託	花と緑のあるまちづくりのため春と秋の花いっぱい運動を行い、花いっばいに満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。	7,264,940	農林水産業費	農業費	農業振興費	農業振興費	グリーンクラブ福生へ草花苗の生産委託を年2回行った。	A	①	緑豊かな環境づくりに寄与した。
パートナーシップの確立		協働による事業推進の方法の確立	①市民による環境まちづくり活動への支援					市民活動災害補償制度	市民活動中に不測の事故により、賠償責任を負った場合、事故によって死亡し、又は傷害を負った場合の補償をすることにより、市民活動の健全な発展と向上、住みよい活力あるまちの実現を図る。	492,500	総務費	総務管理費	諸費	市民活動推進費	傷害補償 1件 44,000円 特定疾病 1件 500,000円	A	①	市民等が活動しやすい環境の整備ができています。
パートナーシップの確立		協働による事業推進の方法の確立	①市民による環境まちづくり活動への支援					地域活性化交付金	地域社会における住民の福祉及び連帯意識の高揚を図るため、町会・自治会が行う各種事業に対し、交付金を交付することにより地域の活性化を図る。	9,010,420	総務費	総務管理費	諸費	町会等関係費	34団体 9,010,420円	A	①	町会・自治会が行う各種事業に対し、交付金を交付することで地域の活性化を図っている。
パートナーシップの確立		協働による事業推進の方法の確立	②市の政策決定・事業における市民参加の促進					協働事業推進本部	各種マスタープラン策定における市民参加の徹底をはじめ、公園整備など各種の事業化・事業実施段階での地域・市民の参画を推進し、市民・事業者・行政の協働による事業展開に取り組む。	0					協働事業推進本部会議 3回実施 協働事業推進委員会 1回実施	A	①	本部会議等を行い、各部署での協働事業の推進を図っている。
パートナーシップの確立		協働による事業推進の方法の確立	②市の政策決定・事業における市民参加の促進					市民活動団体事業支援補助金制度	市民活動団体が行う公益的な事業に要する経費に対し補助金を交付することにより市民活動団体の自立化を支援し、市民が行う公益的な活動の活発な展開及び市民主体のまちづくりの推進を図る。	0	総務費	総務管理費	諸費	市民活動推進費	補助金についての説明会を4回実施。相談が1件あったが、申請には至らなかった。	C	③	補助金は通算2回が限度となっているため、新たな団体からの申請が出なかった。ただし、市民活動自体が行われなかったわけではないため③とする。
計画推進体制の確立		環境マネジメントシステムのレベルアップ						環境マネジメントシステムLAS-Eにおける進捗状況チェック	環境マネジメントシステムLAS-Eを導入し、事業所としての環境負荷削減を目的とした地球温暖化対策実行計画の推進について市民を交えた評価を進めているが、LAS-EにおけるPDCAサイクルを利用し、環境基本計画の着実な推進のため、実行計画の進捗状況をチェックする。	1,013,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	第2ステージの内容で、環境課をはじめ、環境基本計画による事業や取組のある部署に対しても、LAS-E監査のための事前調査の実施や抽出監査を実施しチェックした。	A	①	LAS-E監査により環境基本計画の進捗状況をチェックしている。25年度は第2ステージ第2ステップに合格。
計画推進体制の確立		事業化システムの研究	①実施状況の公表、環境情報の提供					「かんきょう通信」	市民団体等と協働し環境に関する情報等を発信するため「かんきょう通信」を発行する。	447,156	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	かんきょう通信の発行(5月第34号・2月第35号)	A	①	かんきょう通信の発行と市内全戸に配布できた。

平成25年度環境基本計画実行計画

環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			継続区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				25年度実績等			
					部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
計画推進体制の確立	事業化システムの研究	①実施状況の公表、環境情報の提供	37	福生市環境白書	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境に関する各種モニタリング情報の収集・整備を進めるとともに、計画の進捗状況を公表する。	福生市環境白書を発行し、ホームページへの掲載も行う。	0					福生市環境白書『福生市の環境平成24年度版』の発行、ホームページへ掲載	A	①	環境白書の発行、ホームページ掲載を通じ、福生市の環境について公表できた。
計画推進体制の確立	事業化システムの研究	③環境マネジメントシステムの強化	38	環境自治体会議への参加	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境行政についての取組みの情報交換を行う。	環境行政についての取組みの情報交換を行う。	50,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	環境自治体会議からの情報を逐次活用した。	A	②	環境行政についての取組みの情報交換ができた。
計画推進体制の確立	事業化システムの研究	④事業所としての率先行動の推進	38	福生市環境マネジメントシステム	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	環境基本計画の着実な推進のため、環境マネジメントシステムLAS-EにおけるPDCAのしくみを取り入れ、すべての部署にわたる事業の進捗管理を行う。	L A S - E第2ステージでの取組みを視野に運用していく。地球温暖化対策実行計画、環境基本計画実行計画の進捗状況についてL A S - Eによりチェックしていく。	1,046,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	第2次地球温暖化対策実行計画の推進のため、四半期ごとに各部署からエネルギー使用量の報告書の提出を実施。環境配慮行動の意識づけを行った。	A	②	市施設のエネルギー使用量を把握し、併せて増減理由についての原因確認を行い、主体的な取組みができるよう働きかけた。
計画推進体制の確立	事業化システムの研究	⑤環境審議会の開催	38	環境審議会	生活環境部	環境課	環境係	継続		市の環境政策について専門的な立場から、評価・指導を得るため環境審議会を定期的に開催する。	福生市の環境施策、環境問題、環境基本計画実行計画等について、環境審議会を実施する。	127,500	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	環境審議会2回開催(7月2日、委員8名出席、11月28日委員7名出席)	A	①	これまで年1回の開催であったが、2回の開催により、審議を深めることができた。